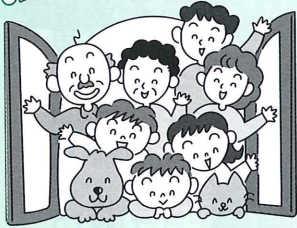


ひとりのため
みんなのため

大洲市

2011年9月号
No.80



社協だより

編集・発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会 〒795-0064 大洲市東大洲270-1
TEL0893-23-0313/FAX0893-23-0295

肱東中学校 地域交流・体験教室

地域のみなさま
ご協力ありがとうございました！

「社協だより七月号」でお伝えしたように、平成二十三年五月十九日実施の「認知症絵本教室」に引き続き、肱東中学校三年生を対象とした総合的な学習の時間を使っての地域交流・体験教室を行いました。

約三か月の期間中、六月七日(火)に「傾聴・コミュニケーション教室」を六月二十四日(金)・七月五日(火)・七月六日(水)の三日間に地域住民の方々との各種「交流・体験教室」を行い、全ての体験教室が無事終了しました。

今回の地域交流・体験教室は、中学生に地域住民の方々との交流・体験を通して、地域や家族の一員としての自分を発見し地域のために何ができるのかを考える機会を作ること

を目的としていましたが、その思いに賛同してくださった菅田・大川地区住民の方々にご協力をいただいで実現することができました。

そして実施された様々な交流・体験教室を経て、生徒たちの地域に対する考え方にも変化が現れたようでした。

詳細を次頁に記載しております



ゲートボール



カローリング、ディスクン

写真は六月二十四日実施の交流・体験教室の時のものです。五つのグループに別れてそれぞれ地域の方々との親交を深めました。



郷土料理



炭焼き



戦争体験語り、史跡めぐり

← 前頁より

肱東中学校三年生 「地域交流・体験教室」実施内容

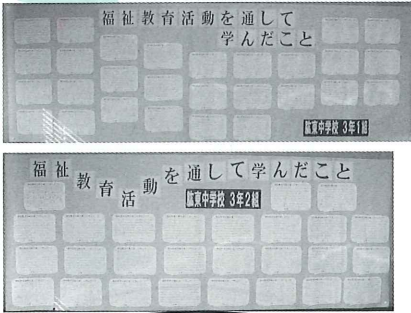
★「認知症絵本教室」(五月十九日)
★「傾聴・コミュニケーション教室」(六月七日)

人を思いやる心やコミュニケーションの取り方等、交流・体験教室を有意義なものにするため、まず、生徒たち自身で考えてみました。



↑地域活動支援センターくじら幸田裕司先生を講師に迎えての傾聴・コミュニケーション教室の様子

★振り返り作業(七月八日)
体験を終えて、生徒たちは地域に對しての思いを改めて考えました。



↑振り返りの成果物。生徒たちの心の変化がうかがえます。

終了

★地域の方々との各種「交流・体験教室」

・「戦争体験語り・史跡めぐり」ほか(六月二十四日)
「戦争体験語り・史跡めぐり」、「郷土料理」、「ゲームボール」、「カローリング・ディスプレイ」、「炭焼き体験」の五グループに別れ、それぞれ地域の方に指導していただきながら体験・交流をしました。
・炭焼き窯だし体験(七月五日)

六月二十四日の「炭焼き体験」グループが仕込んだ炭の「窯だし」を、今度は生徒全員で体験しました。その後、その炭を使って地域の方々と一緒に七夕飾りを作りました。生徒たちは短冊により良い地域にするための願い事を書きました。

菅田公民館、大川公民館と二つの会場に別れて元のふれあい・いきいきサロンの方たちと一緒に七夕飾りを作りました。生徒たちは短冊により良い地域にするための願い事を書きました。

(七月八日)

ふれあい・いきいき
サロンとの交流・体験
の様子 ↓ →



社会福祉協議会より

今回の福祉教育活動では、車いす体験や高齢者疑似体験、施設実習といった例年行っている内容から視点を変えて、自分たちの生活している地域に目を向けました。普段、なかなか交流する機会のない中学生と地域住民が親交を深めることにより、今後の地域福祉を担う人材の育成とより良い地域社会実現のためのきっかけづくりとして、約三か月間にわたり様々な教室を実施しました。

教室・活動を通して中学生は、菅田・大川地域のことについて学び、自らが住む地域の良さや魅力を発見しました。地域のつながりやコミュニケーションを図ることの大切さに気付くことができ、更には自らを見つめ直すきっかけもなりました。

このことから社会福祉協議会としては、今回の教室で思いやりや人の優しさといった地域福祉の基礎となる視点を中学生たちが身につける手助けができたのではないかと考えています。

また、地域の方々も、中学生が一生懸命地域について学ぶ姿に、地域の未来への安心と希望を抱くことができたのではないかと感じています。

そして、何より今回の教室によってお互いに対する印象が変わり、その存在を確かめ合い、認め合うことができたのは大きな収穫であったと思います。

肱東中学校での今回の活動は、福祉教育のひとつのモデル事業として実施しましたが、これをきっかけに、今後、子どもたちと地域住民が世代を超えてつながり、支え合える地域社会が実現していけばよいと感じています。

ホームヘルパー2級養成講座 受講生募集のお知らせ

期 間：平成23年10月1日～平成23年12月17日

- ・10月1日～11月10日
毎週：火・木曜日 午後6時～午後9時
土・日曜日 午前9時～午後5時30分
- ・11月11日～12月15日の期間中に4日間の現場実習あり

募集人員：40名

募集締切：平成23年9月30日(定員になり次第終了)

受講料：40,000円(テキスト代6,700円は別途)

研修場所：株式会社新風会(プレスロービル)2F研修室
株式会社新風会 グループホーム白雲
株式会社新風会 サポートシステム龍星
株式会社新風会 デイサービスセンター龍星
内子町社会福祉協議会 訪問介護事業所
内子町社会福祉協議会 訪問介護事業所 小田支所

<主催・申込・問合せ先>

株式会社 新風会

ホームヘルパー2級養成講座係 担当/泉
〒795-0061 大洲市徳森字野田1477番地1
TEL0893-25-6132

朗読サークル「こころ」 リスナーさんとの交流会



平成23年6月18日(土)、大洲市総合福祉センターにおいて、朗読サークル「こころ」とリスナーさんとの交流会が開かれました。

この交流会は、毎年開催しているもので、今年は「こころ」会員、リスナーさんとそのご家族等、合わせて38名の参加がありました。

お茶とお菓子をはさんで意見交換しながら、時にリスナーさんが独唱を披露されたり、リスナーさんのアコーディオン演奏で合唱したりと、賑やかで楽しい時間を過ごしました。

朗読サークル「こころ」は、今後もリスナーさんとのコミュニケーションを大切にしながら活動していきたいと思っています。また、ご利用のご相談等、関心のある方はお気軽にお問い合わせください。



大洲市ボランティア連絡協議会 災害ボランティア研修会を開催しました!



平成二十三年六月二十六日(日)、肱川河川防災ステーションにおいて大洲市ボランティア連絡協議会主催「災害ボランティア研修会」が開催されました。七年度となる今回の研修会では、東日本大震災を教訓に大洲地域で災害にみまわれた時私たちはどうしたらよいのか、実習を交えながら考えました。

まず、屋外で、電気を使わない炊飯や、サラダ油と日用品を利用しての非常用ランプ作り等の実習をしました。

次に、屋内で、大洲河川国道事務所から東南海・南海地震の想定や肱川流域の防災について、大洲消防署から緊急消防援助隊の活動を通して災害時の避難と援助について、それぞれお話を頂きました。

参加者の方々は、これらの実習やお話に対し終始打ち解けた雰囲気の中にも災害を他人事と考える真剣な姿勢で向き合っておられました。

川の防災情報
提供
国土交通省河川局

<http://i.river.go.jp/>

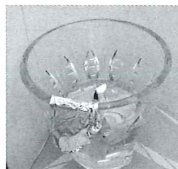


(上、左) 川の防災情報の携帯サイトです。見ておくと災害避難時の初動に違いが出るということです。特に水位情報で河川の状況を判断することが重要とのことでした。

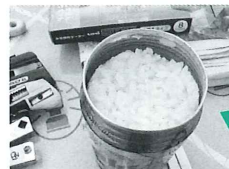
- ① レーダー雨量
- ② テレメータ(雨量・水位・水質・積雪)
- ③ ダム情報
- ④ 洪水予報等
- ⑤ 水防警報
- ⑥ ダム放流通知
- ⑦ お知らせ
- ⑧ Q&A・問い合わせ

<避難の3原則>

1. 想定にとらわれるな
2. 状況下で最善をつくせ
(落ち着いて自分の命を守る)
3. 率先して避難せよ



(上) サラダ油が燃料の非常用ランプです。少量でも長持ちします。



(右、上) アルミの空き缶を使っている炊飯です。牛乳パックを燃料として炊きあげました。



六月一日

六月三十日まで(敬称略)

金銭の部

(指定分)

《平地区社協へ》

酒井シカヨ 市木

《南久米地区社協へ》

松盛 亀久 横野

往田 賢二 稲積

《菅田地区社協へ》

河田 洋志 菅田町

《大川保健福祉協議会へ》

高井 薫 蔵川

谷岡 清重 森山

《新谷地区社協へ》

花菖蒲カラオケ実行委員会

代表 佐伯 弘子 喜多山

《三善地区社協へ》

高橋 雅幸 春賀

《肱川地区社協へ》

神井恵一郎 肱川町

白尾 公男 肱川町

《河辺地区社協へ》

草莽の一雀 大洲市

松本ヨシ子 河辺町

長岡 勇 河辺町

二宮 明男 河辺町

あたたかい善意をありがとうございます。感謝をこめて掲載させていただきます。

社協だより

俳句ひろば

朝方の香りさやけき花蜜柑

池田むさし

評 蜜柑山の蜜柑の花の盛りは美しく香りもよく、しかも朝方であればなおさらの事。

読者をしてそれぞれの思いにひたる事が出来ます。

紫陽花や頭重たき目覚めにて

久保 健一

評 紫陽花は、白、碧、紫と花の色が変化して咲く美しい花です。七変化ともいいますが、咲くのはうっとおしい梅雨の頃、すっきりしない目覚めの作者の目に入った紫陽花の色は癒しの色となった事でしょう。

枇杷うまし大きな種の出てきたる

鳥生 順二

評 四国地方の枇杷は、「楠枇杷」といって丸形でやや酸味が、と歳時記にあります。

枇杷は香りもよく甘い液で美味です。この句からは枇杷の甘さとつやつやした種の大さが伝わってきます。

水の玉抱きては泳ぎまっしぐら

高藤 豊子

評 何とさわやかで元気の出る句。水の玉を抱きて泳ぎゆく、只只まっしぐらに。

■俳句を募集しております。

このコーナーは、白岩チツ子先生に担当していただいております。一般・施設・学生さんからの応募、大歓迎です。みなさんからのお待ちしております。

お問い合わせは
大洲市社会福祉協議会
地域福祉係まで

心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	毎週月・水 (一般相談) 火・木 (法律相談) 金 (介護相談) 大洲市総合福祉センター 10時~16時
長 浜 支 所	9月16日 (金) 大洲市長浜体育館 13時~16時
肱 川 支 所	9月5日 (月) 大洲市肱川公民館 13時30分~16時30分
河 辺 支 所	9月12日 (月) 大洲市河辺老人福祉センター 9時~12時

お問合せ先 本 所 ☎23-0313 (代表) ※相談室直通 ☎23-5629
長浜支所 ☎52-1194 肱川支所 ☎34-2312 河辺支所 ☎39-2510